

第100回 仏教公開講座

# 生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2012年10月20日(土) 午後6時30分～8時30分	
講 師	安藤 泰至 氏(鳥取大学医学部准教授)	
講 題	『現代社会における「いのちへの問い」—生命倫理問題を中心に—』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



## 講師紹介

安藤 泰至(あんど う やすのり)

鳥取大学医学部准教授。専門は宗教学・生命倫理・死生学。

1983年京都大学文学部哲学科卒業、1987年同大学院文学研究科(宗教学専攻)博士後期課程中退。米子工業高専講師・助教授、鳥取大学医学部講師を経て、2000年より現職。2006—2007年、米国ヴァージニア大学実践倫理研究所フェロー、同宗教学科客員研究員。2002年日本医学哲学・倫理学会奨励賞受賞(論文「人間の生における「尊厳」概念の再考」により)。現在、日本宗教学会理事、日本生命倫理学会理事。

著書に、安藤泰至(編)『「いのちの思想」を掘り起こす—生命倫理の再生に向けて—』(岩波書店、2011年)

※ 宗教情報センターHPのコラム

『「いのちへの問い」と生命倫理—宗教に問われているもの』を是非お読みください。

<http://www.circam.jp/columns/detail/id=3083>

## 先生からのメッセージ

「生とは何か?」「死とは何か?」という問いはあらゆる宗教の根本にある問いでしょう。現代では、医療技術や生命科学の飛躍的な発展によって、新しい形でこの問いが私たちに突きつけられています。しかし、今のところ宗教はこうした問いをしっかりと受け止められていないように見えます。それはなぜか、一緒に考えてみましょう。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。TEL058-265-0033